

月橋套

そこ、皆さんのお宅に、
在、お使いになつていな、御
具、がありましたら、御
て、いたさいたさ、の、贈
用、具一式でなくとも、
は、「面」とか「胴」と、
「小」だけでも喜ん、
戴、いたします。
お手数でもご寄贈下
場合は、当事務局（第一
（一二番）に御連絡、
直ちに参上いた、
尚、今まで寄贈さ、
（就、れた方は、
蓮、池、（称略）
飯、田、一、郎
田、村、知、郎
阿、善、作
神、戸、敏、雄
横、田、タ、バ、コ、店
中、山、初、治
内、武
み、の、美、容、院

(紅)

上 条 村 大 字 間瀬
西 浦 原 郡 岩 室 田 中 四 郎
荒 浜 田 村 光 仲
駅 通 二 渡 恒 弘
善 板 安 達 正 吉
旭 町 二 宮 崎 七 郎
平 井 戸 川 憲 美
港 町 三 松 原 真 一
橋 場 渡 辺 恒 弘
河 合 辰 郎
比 叵 の 修 得 練 磨 に 移 り、 最 後
に 又 道 徳 的 な 面 に 帰 ら ね ば
な ら ない。 と し て い る の で
あ る。

東 京 オ リ ン ピ ッ ク に 備 え
て の ス ポ ー ツ 強 化 策 も 良 い
で あ る が、 し か し、 ス ペ
ー ツ の 理 念 を 置 き 忘 れ て 技
術 の 末 を い じ く つ て い る
よ う な 日 本 の 現 状 に 引 き 較 べ
て、 読 者 は 彼 等 の 教 然 た る
指 導 理 念 に、 残 念 な が ら 男
教 の 頭 を 垂 れ ざ る を 得 な ん
な る で あ ろ う。

「陸上のバイブル」とし

度くもなるような本が、

(五)

上 条 村 大 字 間瀬
西 浦 原 郡 岩 室 田 中 四 郎
荒 浜 田 村 光 仲
駅 通 二 渡 恒 弘
善 板 安 達 正 吉
旭 町 二 宮 崎 七 郎
平 井 戸 川 憲 美
港 町 三 松 原 真 一
橋 場 渡 辺 恒 弘
河 合 辰 郎
比 叵 の 修 得 練 磨 に 移 り、 最 後
に 又 道 徳 的 な 面 に 帰 ら ね ば
な ら ない。 と し て い る の で
あ る。

東 京 オ リ ン ピ ッ ク に 備 え
て の ス ポ ー ツ 強 化 策 も 良 い
で あ る が、 し か し、 ス ペ
ー ツ の 理 念 を 置 き 忘 れ て 技
術 の 末 を い じ く つ て い る
よ う な 日 本 の 現 状 に 引 き 較 べ
て、 読 者 は 彼 等 の 教 然 た る
指 導 理 念 に、 残 念 な が ら 男
教 の 頭 を 垂 れ ざ る を 得 な ん
な る で あ ろ う。

「陸上のバイブル」とし

度くもなるような本が、

さかたいくを

上 条 村 大 字 間瀬
西 浦 原 郡 岩 室 田 中 四 郎
荒 浜 田 村 光 仲
駅 通 二 渡 田 恒 弘
善 板 宮 崎 七 郎
旭 町 二 戸 川 憲 美
平 井 松 原 真 一
港 町 三 渡 辺 恒 弘
橋 場 河 合 辰 郎

此の修得練習に移り、最後
に又道德的な面に帰らねば
ならない。とされているので
ある。

東京オリンピックに備え
てのスポーツ強化策も良い
であろうが、しかし、スゲー
ツの理念を置き忘れて技
術の末をいじくっているよ
うな日本の現状に引き較べ
て、読者は彼等の毅然たる
指導理念に、残念ながら男
教の頭を垂れざるを得なん
なるであろう。

「陸上のバイブル」とし

度くもなるような本が、